

無人芝刈り機ロボット化システム

# HerbF

## 武蔵丘GCにて 公開実験



ティーチングプレイバック方式を使って自動でグリーンキーパーの動作を再現。間近で見ると迫力がある



公開実験現場での  
機器説明の様子



芝浦工業大学・長谷川忠大教授兼理工学研究科長補佐



芝浦工業大学、同SIT総合研究所・油田信一教授



システムセッティングの場面に機械に後づけできるのが最大のメリットである



西武建設(株)・二村憲太郎企画部次長



西武建設(株)・加藤智之取締役兼執行役員

西武建設(株) (埼玉県所沢市) は、芝浦工業大学長谷川研究室 (株)ミライト (東京都江東区) と共同で、既存のゴルフ場芝刈り機のロボット化システム「HerbF」(ハーブエフ) を開発しており、9月24日に武蔵丘ゴルフコース(18H、埼玉県) 内ゴルフ練習場内にて公開実験を行った。

このシステムは、ゴルフ場グリーンキーパーの動作を記憶・再現する「ティーチングプレイバック方式」でゴルフ場が保有・管理する芝刈り機のロボット化とメンテナンスの向上を目的としている。

公開実験当日は各業界からメディアを含む26名が参加。同GCのカンファレンスルームにてHerbFの開発の経緯などの概要説明が行われた後、ゴルフ練習場に移動し、芝浦工業大学の油田信一教授から説明を受けながら無人刈り機実験を参加者全員で見守った。その後の意見交換会では様々な質問が飛び交い、質問に対して芝浦工業大学の長谷川忠大教授の丁寧な説明が印象に残った。

三社は今後HerbFの機能・安全性などを更にグレードアップし、ゴルフ場関係者の皆様に使っていただけるよう、コースメンテナンスの効率化や人とロボットの協働を実現していくとしている。